

3つの分野で新たなシェアリングを(総合的交通政策検討会メモ, 2014. 5. 30)
東京工業大学大学院教授 屋井鉄雄

I. 道の分野 (道路の空間シェアリング)

1. パラリンピック開催条件の確保 (歩道上の歩行者安全)

論点: 歩道に自転車を走らせた負の遺産解消!

方向: 自転車を歩道から退出させて, 「歩行者の安心」を保証!



2. 自転車走行空間の「ネットワーク計画」策定と戦略的整備

論点: 自転車が車道を安全に走行できる環境の整備

方向: ① 自転車レーンの設置*, ② 都の自転車ネットワーク計画策定, ③ 国(国道, 河川)・区市と連携, ④ 法定外表示(ピクト: 市区道等)を含む戦略的整備(目標設定: ex. 2000 kmは可能)

* 自転車を過保護に扱わない. 自転車専用道の多くは過剰な投資! 自歩道は有害!



3. 自転車利用システム展開の条件整備(急務)

論点: 安全以外の利便(観光)・環境・健康目的での利用拡大. CC(SC)システムの大規模な導入も視野に, 道路の空間シェアリングが必要条件(急務).

方向: ① 車道上走行空間の体系的整備 (リオンの失敗, パリの成功), ② ラック設置場所, ② ルール・安全教育徹底(条例強化等)



4. 水と緑のネットワーク整備の継続的推進

論点: 街路樹・街路植栽の効果的ネットワーク化

方向: ① 高木の樹種見直し(五輪時の暑さ対策, cf. 維持管理), ② 中木設置の見直し(100万本計画の弊害⇒道路上の視距低下問題), ③ 低木からグランドカバーへ(維持管理費削減, 景観面)

II. 鉄道分野 (都心相直から空港相直まで新シェアリング)

5. 生活の足としての都市鉄道の高齢社会対応

論点: 高齢社会における混雑や遅れの管理, 質の高いサービスの選択, 昼間時間帯の利用促進(混雑率180%目標ではなかろう?)

方向: 相直による遅れ伝播問題(⇒相直折り返し施設整備等), 利便対応

6. 国際競争力強化としての空港アクセス鉄道

論点: 世界都市東京の競争力の維持・向上に資する整備は必要

方向: ① 空港容量+30×⇒速達性, 広域性を重視した整備, ② 空港容量+30○⇒+新線整備. (cf. 空港相直, 将来の新幹線(FG)相直検討?: インチョン, 上海, 欧州等)

III. 空の分野 (空の新たなシェアリング)

7. 首都圏空港の拡張可能性と空域活用

論点: 羽田のタブー(市街地上空, 横田空域)への挑戦(国民的議論)

方向: 五輪中の実施とその後の展開(ロンドン110万回超4本目提案)